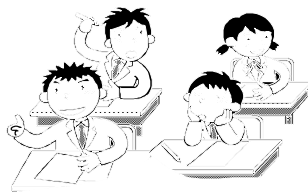


栗小だより



増刊号



令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について

全国の小学6年生対象に「教科に関する調査」と学習や学校生活、生活習慣などに関する「質問紙調査」が4月に実施されました。「教科に関する調査」では、国語・算数の2教科について、前回までA問題「知識に関する問題」・B問題「活用に関する問題」でした。しかし、今後必要とされる力はA問題・B問題という区分されるものではなく、実生活の場面で活用できる知識であったり、知識をもとに主体的・対話的に学びを深めることができる力です。そのため、今回からA問題・B問題を一体化した問題となりました。

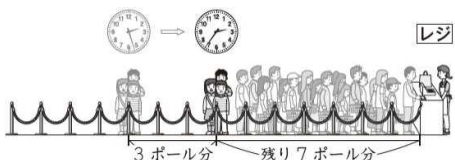
「教科に関する調査」の結果から

国語、算数とも平均正答率で、全国・県を上回りました。特に、国語は全国・県の正答率を大きく上回り、大変優秀な成績でした。

全体的に良好な結果でしたが、一問ずつ見ていくと、部分的に苦手としているところが見つかりました。6年生には苦手を克服して卒業できるよう取り組むだけでなく、他学年の指導においてもそれらを意識してに取り組んでいきたいと思えます。

| 国語 | 特に正答率の高かった設問 | 課題となるところ・向上策 |
|-----------|--|---|
| | <p>◎文章の内容を理解し、自分の考えをはっきりさせて読む …「読む能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの様子の一部を読んで、話し合いにおける司会の役割を考える <p>◎漢字を文の中で正しく使う …「言語についての知識・理解・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査のたいしょう → 対象 友達にかぎらず → 限らず かんしんを持って → 関心 | <p>▲目的や意図に応じ、考えた理由を明確にして書く …「書く能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> 【報告する文章】の中の空欄に「調査内容と結果」からわかったことを、まとめて書く <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図やグラフの読み取り、説明文等からわかったことを話し合う機会をもちます。また、キーワードを意識し、柱立てをしてから文書を書く習慣がつくようくり返し授業で取り上げていきます。 |

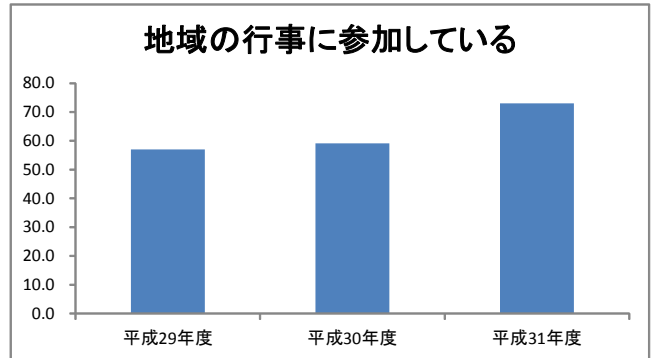
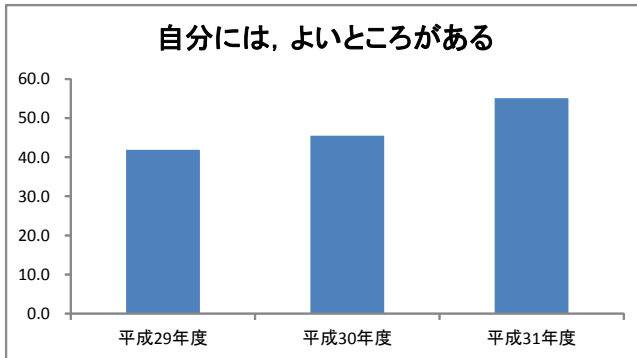
| 算数 | 特に正答率の高かった設問 | 課題となるところ・向上策 |
|-----------|---|--|
| | <p>◎足し算・かけ算の混じった整数・小数の計算ができる…「数量や図形についての知識・理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗顔と歯磨きで使う水の量を求めるために $6 + 0.5 \times 2$ を計算する <p>◎状況を把握して、単位量当たりの大きさから、式を立て答えを出し、その結果をもとに判断できる…「数学的な考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 7本分進むための時間の求め方と答えを出し、制限時間内にレジに着くかどうかを判断する | <p>▲資料を見て、一人当たりの水の使用量増減を判断し、その理由を説明できる …「数学的な考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、それを選んだ理由を書く <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> どの教科においても、グラフの目盛りを読むだけでなく、数値の違いや変化の意味にも着目できるように授業を工夫していきます |



「質問紙調査」の結果から

質問紙についても、非常にすぐれたところが多い子ども達です。その中から特徴的なものをお知らせします。

「自尊心」について、粟小の子ども達は年々上がっています。ご家庭での言葉かけや地域行事に参加したときの地域の皆様の温かな支援が、こうした結果に結びついているものと、感謝しております。

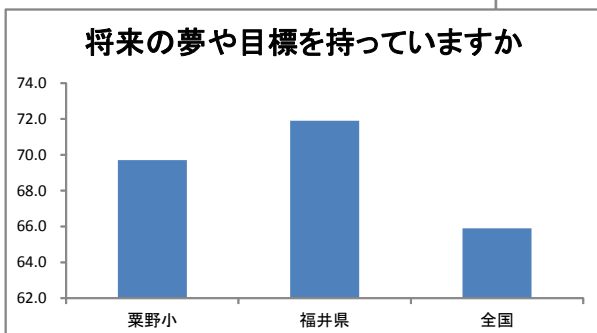
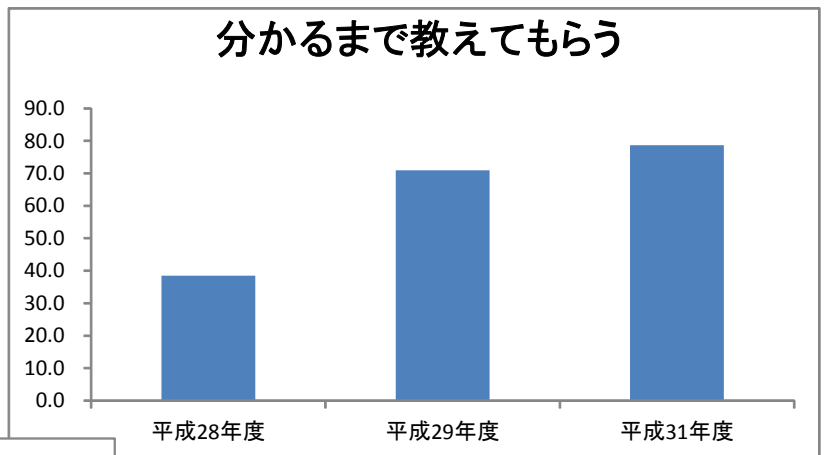
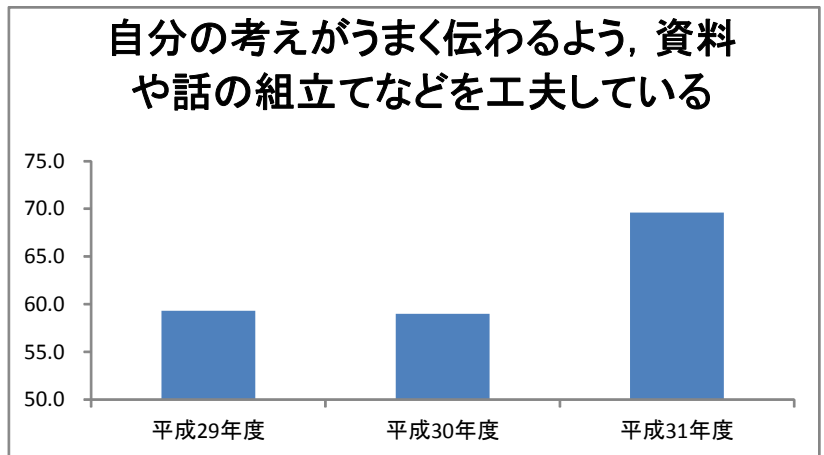


授業に関しては、学校をあげて取り組んでいる「わかりやすく相手に伝える」ことについても、子ども達の意識が高いことが伺えます。

また、「わかるまで教えてもらいたい」という意欲も高く、教員がそれに応えるように取り組んでいます。

大変意欲的で、前向きに活動できる子ども達が育っています。

このように自慢の子ども達ですが、「将来の夢や目標」については、福井県の平均よりも少し低くなっています。夢を持って生活することは素晴らしいことです。しかし、昨年度の保護者学級で講師が話した「夢は出会うもの」という言葉を思い出すと、まだ出会っていない子ども達に焦らすことなく、夢に出会ったときに、その夢の実現に向けてすぐに取り組めるような力をじっくり育てていきたいと考えます。



いろいろとご協力いただくことも多いと思いますが、よろしくお願いいたします。